

Joie™

適合基準：ECE R44-04 G1/2/3

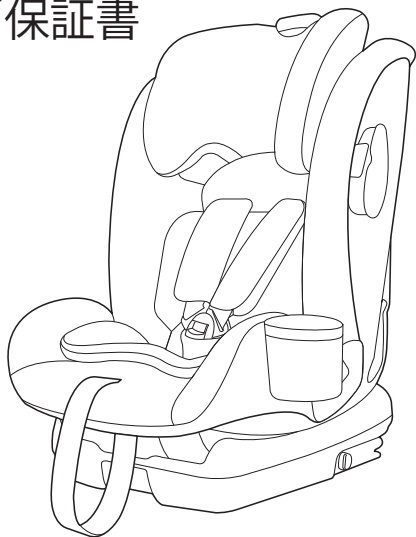
適応体重：9kg から 36kg まで

年齢の目安：1 歳頃から 12 歳頃まで

※ 年齢は目安です。本製品の適合する基準は、お子さまの体重によって使用範囲が定められています。

## 取扱説明書／保証書

**bold**™  
**booster**  
ボールド



### 必ずお読みください！！

本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシート製品です。本製品は、チャイルドシートの基準に適合する製品ですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本体底面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。

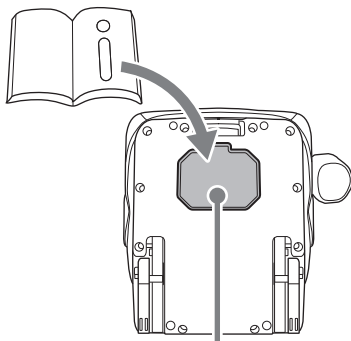
## もくじ

はじめにお読みください	3	トップテザーの取り付け (特定モード)	45
本書の保管について	3	isosafe コネクタの取り付け (すべてのモードで共通)	48
ユーザー登録のお願い	3	トップテザーベルトの締め付け (特定モード)	51
チャイルドシートについて	4	押し込み操作 (すべてのモードで共通)	52
使用に関するアドバイス	4	トップテザーの確認 (特定モード)	52
自動車との適合について	5	取り外しかた	53
本製品の情報	6	トップテザーの取り外し (特定モード)	53
表記の説明	7	isosafe の取り外し (すべてのモードで共通)	54
危険・警告・注意の表記について	7	トップテザーの収納 (特定モード)	55
強調・禁止の表記について	7	各モードでの使用方法	57
その他の表記について	7	グループ1/2での使用方法	57
本取扱説明書で使用するイラストについて	8	グループ2/3での使用方法	64
内容物の確認	8	ハーネスの格納	65
各部の名称	9	使いかた	70
自動車に関する各部の名称	11	お手入れのしかた	78
使用できるお子さまの条件	12	パッド・カバー類の取り外し	79
各モードの説明	13	パッド・カバー類のお手入れ	82
自動車の座席への取り付けに関して	14	樹脂・金属のお手入れ	84
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	14	樹脂部分	84
取り付け、使用できない座席	15	金属部分	84
使用上の注意事項	18	isosafe コネクタ・トップテザーのお手入れ	85
緊急時の操作	30	ハーネス・バックルのお手入れ	85
基本的な使いかた	31	ハーネス	86
ソフトパッドの取り付け	31	バックル	86
バックルの使いかた	31	保管のしかた	87
バックルの外しかた	32	廃棄のしかた	87
バックルの留めかた	32	保証書 (お問い合わせ先)	
ハーネスの長さ調節	34		
ゆるめかた	35		
締めかた	35		
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節	36		
ソフトパッド	37		
取り外しかた	37		
サイドインパクトシールド	39		
リクライニング	40		
カップホルダー	41		
取り付け操作	43		
取り付けかた	44		
準備 (すべてのモードで共通)	44		

## はじめにお読みください

### 本書の保管について

あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、**本体底面の取扱説明書ホルダー**に大切に保管し、必要ときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



取扱説明書ホルダー

### ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、**国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力**をお願いいたしております。本製品は、チャイルドシート基準である ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、**直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。**

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。

お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

## チャイルドシートについて

---

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

## 使用に関するアドバイス

---

お子さまにチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

## 自動車との適合について

本製品は、ECE R44/04 基準のセミユニバーサル認証を受けた製品です。本製品は、自動車の3点式シートベルトを使用して、かつ、自動車の座席の汎用 ISO-FIX 固定バーに固定し、本製品のハーネスを使用する場合（グループ 1/2 モード）は、トップテザーを自動車のテザーアンカーに取り付けて使用します。

本製品は、すべての自動車、すべての座席で使用できるものではなく、車種や座席によっては取り付けができない場合もあります。

本製品が取り付けられる自動車の座席に関しては、以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しております。

<http://www.katoji.co.jp/>

### 危険

#### 汎用 ISO-FIX 固定バーでのみ固定可能

本製品は、汎用 ISO-FIX 固定バーを装備した座席にのみ取り付け使用することができます。また、グループ 1/2 のモードで、本製品のハーネスを使用してお子さまを固定する場合には、これに加えて、テザーアンカーを使用する必要があります。

特定の仕様の ISO-FIX 固定バーでは、取り付け使用できない場合がありますので、ご注意ください。

## 本製品の情報

---

本取扱説明書の記載事項をよく読んで、正しくお使いください。

疑問や不明な点がある場合は、そのままにせず、本製品をご使用になる前に、お買い求めの販売店または、本書末尾の保証書欄に記載の「お客様サービス」までお問い合わせください。

本製品は、UN ECE R44/04 に適合した、セミユニバーサルタイプのチャイルドシートです。

---

汎用 ISO-FIX 固定バーが装備された自動車の座席に取り付けて使用します。

---

本製品の使用には、取り付け、使用する座席に ECE R16 またはそれと同等の基準に適合した 3 点式リトラクターシートベルトが装備されている必要があります。市販されているほとんどの自動車は、ECE R16 またはそれと同等の基準に適合した 3 点式リトラクターシートベルトが装備されています。

---

多くの自動車の座席に取り付けて使用できますが、すべての車種、座席に取り付けて使用できるとは限りません。

適合の情報については、「自動車との適合について」を参照してください。

製 品 名 : BOLD (ボールド)

適 合 基 準 : ECE R44-04 G1/2/3

グ ル ー プ : グループ 1/2/3

適 応 体 重 : 9kg から 36kg まで

年 齢 の 目 安 : 1 歳頃から 12 歳頃まで

※年齢は目安です。本製品の適合する基準は、体重によって使用範囲が定められています。




主 な 原 材 料 : 樹脂・金属・繊維

## 表記の説明



本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。


### 危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 <b>危険</b>	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 <b>警告</b>	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 <b>注意</b>	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

### 強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表示に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

### その他の表記について

表記	表記の内容
 <b>ポイント!</b>	この表示に付随して記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利に使用していただくための大切な情報です。

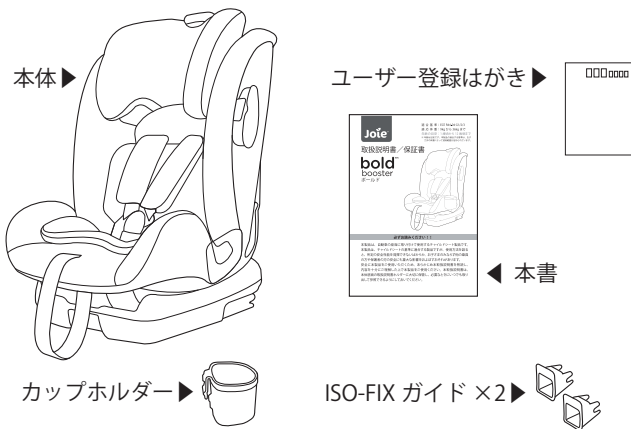
## 本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張等をおこなっていますので実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

## 内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

※本製品の組み立てに工具は必要ありません



### 警告

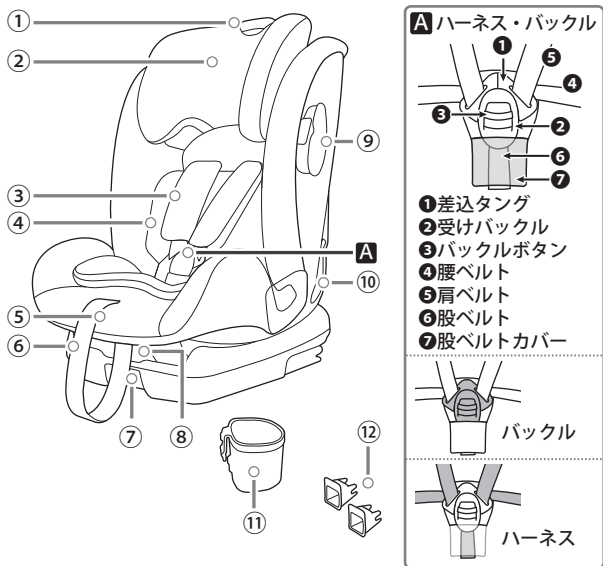
#### 窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。



## 各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



①ヘッドレストアジャストレバー

②ヘッドレスト

③肩ベルトパッド

④ソフトパッド

⑤ベルトアジャスター

⑥アジャストベルト

⑦リリースレバー

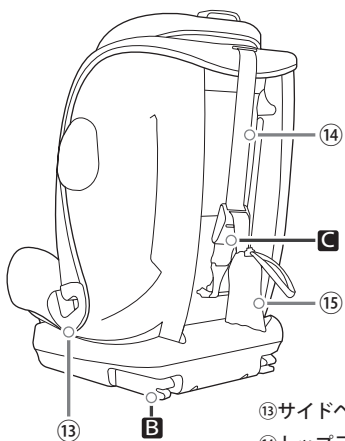
⑧リクライニングレバー

⑨サイドインパクトシールド

⑩ベルトパス

⑪カップホルダー

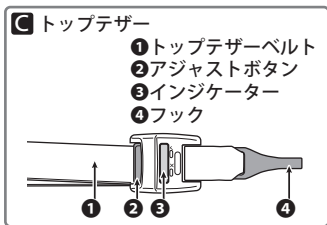
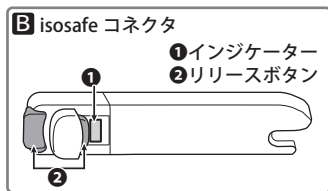
⑫ISO-FIX ガイド



⑬ サイドベルトパス

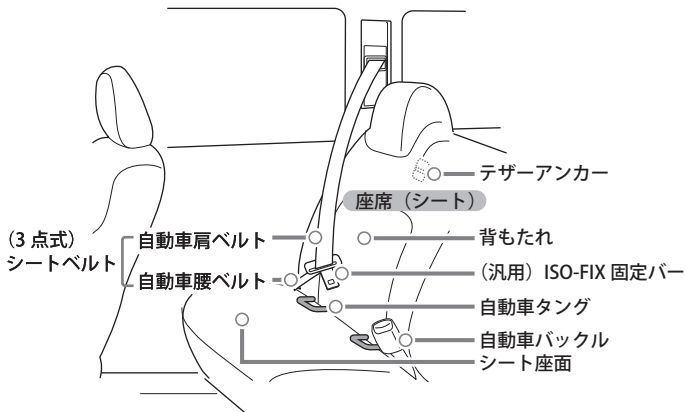
⑭ トップテザーベルト

⑮ 袋 (トップテザーベルト)



## 自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



### ポイント!

お車の取扱説明書においては、別の名称にて記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

## 使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシート  
の基準によって定められています。本製品は、3種類のモードがあり、それぞ  
れの使用方法において、使用できる条件が定められています。

お子さまの体重に合わせて適切なモードで使用してください。

各モードの範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に  
適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

### ポイント！

各モードにおいて、使用可能な範囲が重複する場合は、お子さまの体型、着衣  
などに合わせてモードを選んで使用してください。

P57 グループ1：体重 9kg~18kg 年齢の目安：1歳頃~4歳頃

P57/64 グループ2：体重 15kg~25kg 年齢の目安：3歳頃~7歳頃

P64 グループ3：体重 22kg~36kg 年齢の目安：6歳頃~12歳頃

※年齢は目安です。

## 警告

### 使用できるお子さまの条件を必ず守ること

各モードで規定されている条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を發揮  
できないおそれがあります。必ず、使用できるお子さまの条件を守り、正しく  
お使いください。

## 各モードの説明





本製品は、いずれのモードにおいても、自動車の3点式シートベルトを使用します。  
また、 isosafe コネクタを座席の汎用 ISO-FIX 固定バーに固定します。

お子さまの体重が 9kg ~ 18kg までのグループ 1 モード、 および体重 15kg ~ 25kg までグループ 2 モードで本製品のハーネスを使用する場合、には、 トップテザーを自動車のテザーアンカーに取り付けて使用します。

お子さまの体重が 15kg ~ 25kg までのグループ 2 モードにおいて、自動車の3点式シートベルトでお子さまを固定する場合と、体重 22kg ~ 36kg までのグループ 3 モードで使用する場合は、トップテザーは使用しません。

### ポイント！

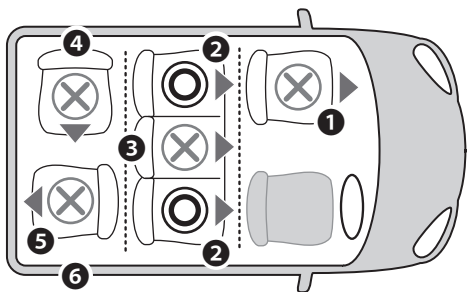
本製品のハーネス（バックル）を使用して、お子さまを固定する場合、トップテザーを使用します。

適応体重	取付方向	取り付け方	目安年齢	お子さまの固定方法	自動車の座席への固定方法
9kg ~ 18kg グループ 1	前向き		およそ 1 歳頃 ~ 4 歳頃	本製品のハーネス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● isosafe コネクター</li> <li>● トップテザー</li> <li>● 自動車の座席の 3 点式シートベルト</li> </ul>
15kg ~ 25kg グループ 2	前向き		およそ 3 歳頃 ~ 7 歳頃	本製品のハーネス	<ul style="list-style-type: none"> <li>● isosafe コネクター</li> <li>● トップテザー</li> <li>● 自動車の座席の 3 点式シートベルト</li> </ul>
				自動車の座席の 3 点式シートベルト	<ul style="list-style-type: none"> <li>● isosafe コネクター</li> </ul>
22kg ~ 36kg グループ 3	前向き		およそ 6 歳頃 ~ 12 歳頃	自動車の座席の 3 点式シートベルト	<ul style="list-style-type: none"> <li>● isosafe コネクター</li> </ul>

## 自動車の座席への取り付けに関して

### 取り付け、使用可能な座席の位置と向き

本製品を取り付け可能なのは、汎用 ISO-FIX 固定バーとテザーアンカーの両方を備えた座席のみです。取り付けようとしている座席が、その条件を満たしている事を確認した上で、以下の内容をご確認ください。



① 助手席	取付使用不可
② 2列目左右ドア側席	取付使用可能
③ 2列目中央席	取付使用不可
④ 進行方向に向かって横向きの座席	取付使用不可
⑤ 進行方向に向かって後ろ向きの座席	取付使用不可
⑥ 3列目以降の座席	取付使用不可

### ⚠ 危険

#### 取り付けの条件を守ること

上記の座席（シート）全てに取り付け、使用可能とは限りません。

上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席にのみ、取り付けが可能です。

## 取り付け、使用できない座席

本製品は、全ての自動車、全ての座席（シート）で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

### ⚠ 危険

以下に示す座席（シート）では使用できません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

#### 汎用 ISO-FIX 固定バーの装備されていない座席

本製品は、自動車の汎用 ISO-FIX 固定バーとテザーアンカーを使用します。

ISO-FIX 固定バーが装備されていても本製品が使用可能とは限りません。本製品の条件に適合する仕様の「汎用 ISO-FIX 固定バー」が装備された座席でのみ取り付け可能です。

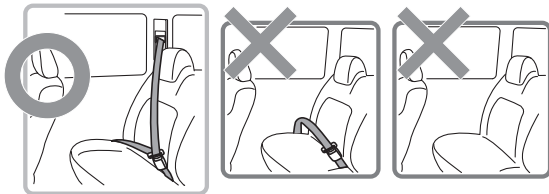


#### 3 点式シートベルトの装備されていない座席

シートベルトのない座席、2 点式や 5 点式のシートベルトの座席では使用できません。

ECE R16 に適合または、これと同等の基準に適合した 3 点式シートベルトでのみ使用することができます。

本製品は、いずれのモード（グループ 1 / 2 / 3）においても、3 点式シートベルトを使用をします。



## ⚠ 危険

以下に示す座席（シート）では使用できません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

### 本製品を安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、可動操作に干渉する座席では取り付け、使用することができません。また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともあります。



### 乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に緊急時を想定し、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態ですべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかをあらかじめ確認してください。





## ⚠ 危険

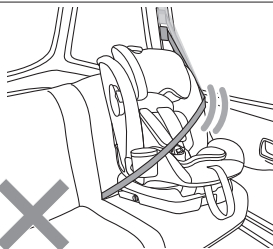
以下に示す座席（シート）では使用できません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

### 助手席

助手席には、本製品を取り付けて使用しないでください。本製品は、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

### パッシブシートベルトの装備された座席

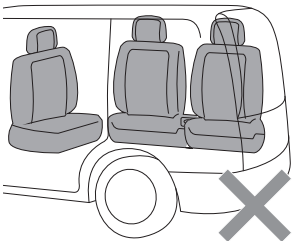
ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトの座席では本製品を使用できません。



### 進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ、取り付けて使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席でも取り付けて使用できません。



### 本製品の取り付けにより、自動車の重要な操作に支障をきたす座席

本製品を取り付けることにより、自動車の操作に影響をおよぼさない事をあらかじめ確認した上で、取り付け、使用してください。

### その他、しっかりと取り付けられない座席

本製品は、座席の形状やサイズ、座席のシートベルトの長さ、シートベルトの自動車バックルの高さや前後の位置などが影響し、本取扱説明書にしたがってもしっかりと固定できない、安定しない座席では使用できません。

## 使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

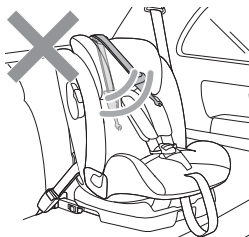
### ⚠ 危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

#### 正しく自動車の座席に固定して適切に使用すること

本製品を適切に使用しないと、急カーブ、急停止、衝突などの衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。

本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席（シート）に固定し、使用してください。isosafe コネクターが正しく固定され、使用するモードに応じて、本製品のトップテザーやハーネス、また自動車の3点式シートベルトが正しく調節されて、お子さまを適切に固定した状態でご使用ください。



#### 使用条件を厳守すること

本製品は、適合する基準によって、使用方法とそれに応じた使用可能なお子さまの体重の条件（体重9kg～36kg）が定められています。使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



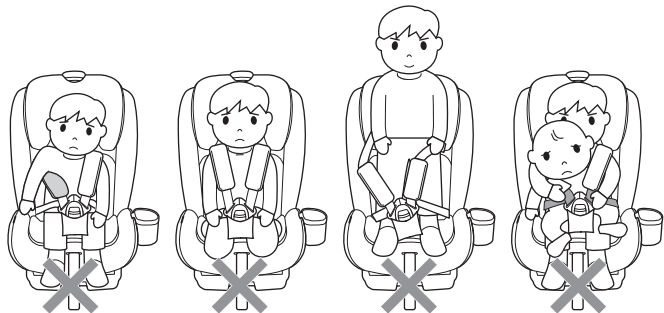
## ⚠ 危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、正しく調節して、正しくお子さまを固定してください。

本製品は、使用するモードにより、本製品のハーネス、または自動車の3点式シートベルトでお子さまを固定するようになっています。お子さまの体重により使用するモードが異なり、モードによってお子さまを固定する方法が異なりますので、必ず本取扱説明書を確認して正しく調整して、正しい方法でしっかりと固定してください。規定された条件に適さない方法でお子さまに使用したり、ハーネスやシートベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



### チャイルドシートの分解、改造をしないこと。

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造をしてはいけません。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや部品を取り付けて使用しないでください。



## ⚠ 危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### ハーネス、シートベルトを正しく使用すること

お子さまを本製品に固定する場合、使用するモードにより、本製品のハーネスまたはシートベルトを使用します。それぞれが正しく調節され、腰ベルト（モードに応じてお子さまを固定するハーネスの腰ベルトまたは自動車腰ベルト）を低い位置にして、お子さまの骨盤の上を通るようにしてください。

### ハーネス、シートベルトにねじれがないようにすること

本製品の固定、お子さまの固定にあたり、本製品のハーネス、自動車の3点式シートベルトにねじれがないようにしてください。

### 指定以外の耐荷重接点を使用しないこと

本製品を取り付け・使用にあたっては、本書および本製品に表記されている耐荷重接点以外を使用しないでください。本製品を取り付け・使用にあたっては、必ず本書および本製品に表記されている指示に従ってください。

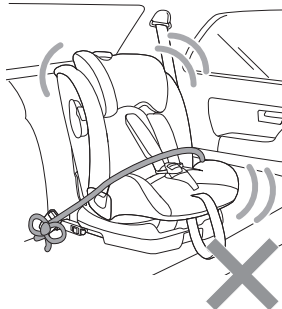
### 指定する方法以外での取り付けをしないこと

本製品は、適合する車種、座席の汎用 ISO-FIX 固定バーおよびテザーアンカー、および3点式シートベルトを使用して取り付け、使用します。

ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどで本製品を固定してはいけません。

また、本製品を正しく取り付けた上に、これらのもので補強してもいけません。これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

本製品では、使用するモード（グループ1、2、3）によって、取り付けかたの一部が異なります。本書の指示に従って、正しく取り付けしてください。

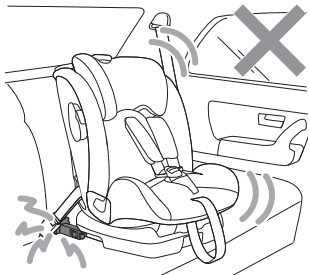


## ⚠ 危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

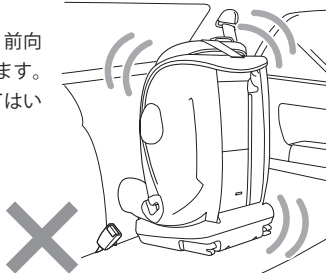
### 本製品の取り付けに関わる部位、部品に異常が認められる場合、絶対に使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が外れ、重大な事故につながるおそれがあります。ISO-FIX の固定にかかわる機構や、トップテザーの取り付けにかかわる機構、3点式シートベルトに異常が認められる場合は、絶対に使用しないでください。



### 指定以外の向きで自動車のシートに取り付け、使用、設置をしないこと

本製品は、自動車の進行方向に対して、前向きの座席に前向きに取り付けて使用します。横向き、後ろ向きなどの向きで使用してはいけません。



### お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、抜け出そうとしてケガをしたり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

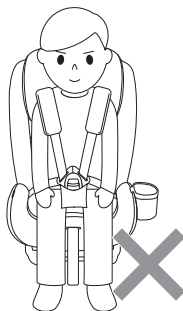


## ⚠ 危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

### 体型が合わなくなった場合は使用しないこと

お子さまの体重が規定の範囲内でも、お子さまが成長し、本製品に正しくお子さまを乗せた際に、頭頂部がチャイルドシートから上にはみ出してしまう場合、お子さまの臀部が座面に入らなくなってしまった場合など、調節してもお子さまを正しく固定できない場合には、所定の安全性能を発揮できませんので使用を中止してください。



### 本製品に破損、部品の欠落がある場合は使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがありますので、本製品に破損した部分があったり、部品に欠落がある場合は、使用しないようにしてください。

### シートベルトに、切れや、擦り切れ、損傷がある場合は使用しないようにすること

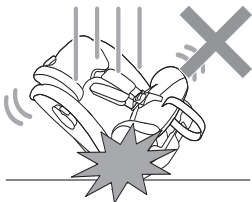
本製品は、すべてモードにおいて、自動車の3点式シートベルトを使用します。3点式シートベルトに切れや、擦り切れ、損傷がある場合、事故や急制動の際に、本製品が外れたり、お子さまが飛び出したりするおそれがあります。

## ⚠ 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

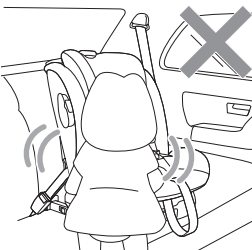
### 強い衝撃を受けた場合、損傷した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだ、など、一度でも強い衝撃を受けた場合は、使用してはいけません。目には見えない損傷によっても、安全に機能しなくなっている可能性があります。



### 走行前には、毎回チャイルドシートの取り付け状態を確認すること

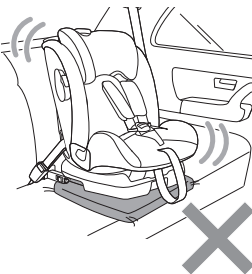
他の乗員やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回、チャイルドシートが自動車の座席に正しく取り付けられているかどうか、必ず確認してください。



### 本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないこと。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく取り付けの際に、自動車の座席にくぼみや傷が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。

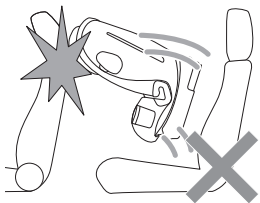


## ⚠ 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

### 使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

お子さまが使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本取扱説明書の指示に従い、自動車の座席に正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



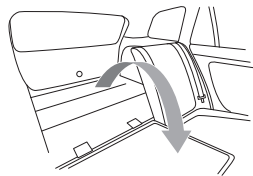
### 走行中は、チャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



### 可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



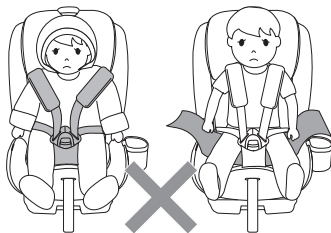


## 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

### 不適切な着衣で使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり、飛び出したりするおそれがありますので、ケープ、毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣、サイズの大きすぎる着衣でチャイルドシートを使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にチャイルドシートに固定されるよう、ハーネス等を正しく調節してください。また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしないてください。



### シートカバーなどの部品を取り外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。シートのカバーやパッド、クッション類なども本製品を構成する重要な部品ですので、絶対に取り外して使用しないでください。

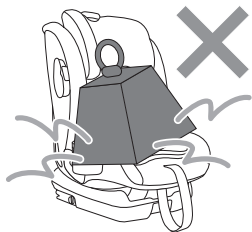
また、これらの部品を、指定外部品に交換したり、同梱されていないアクセサリや部品を取り付けて使用しないでください。

## ⚠ 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

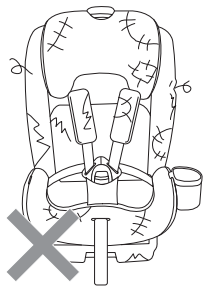
### 過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、チャイルドシートに重いものを載せたり、自動車のドアや自動車座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品が損傷した場合、本製品を使用してはいけません。



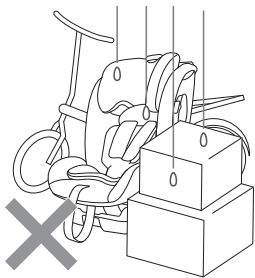
### 中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品や過去の履歴が不明なチャイルドシートは、保管状況、使用状況、劣化状況が不明なため使用してはいけません。安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないようご配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



### 不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。

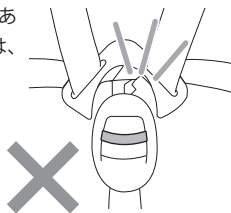


## 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

### バックルに異常が生じた場合、本製品を使用しないこと

バックルが正しく留まらない、ハーネスに損傷がある、ハーネスを締め付けることができない場合は、ただちに使用を中止してください。



### ハーネス、シートベルトの状態を適宜確認すること

お子さまが激しく身体を動かしたり、ハーネスやバックルボタン、自動車のシートベルトや自動車バックルに触れたりすると、お子さまが正しく固定されなくなるおそれがあります。お子さまには、これらには手を触れないように言い聞かせ、適宜、ハーネス、シートベルトが正しく装着されているかご確認ください。



### 目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、チャイルドシートとしてのみ使用することができます。椅子として使用するなど、チャイルドシート以外の目的で使用すると重大な事故につながるおそれがあります。

### お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと

お子さまがチャイルドシートから落下したり、本製品が落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえハーネスで正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

## ⚠ 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

カップホルダーには、熱い飲み物、熱い液体の入った容器を入れないこと

お子さまがやけどするおそれがあります。

自動車の取扱説明書の指示を確認し、従うこと

フロントエアバッグの取り扱い、チャイルドシートの取り付け、使用にかかわる部分など、本製品を使用するにあたり、自動車の取扱説明書において記載されている指示を確認して、従うこと。

## ⚠ 注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

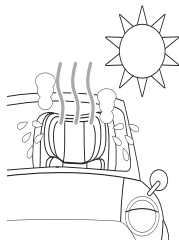
車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



## 注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

### 取り付けする場所（座席）に注意すること

ドアに挟まれない座席に取り付けてください。あらかじめ本製品を取り付けた上で挟まれたり、ぶつかったりしないことを確認してから使用するようにしてください。可動式の座席の場合は、移動しても挟まれたり、ぶつかったりしないか確認するようにしてください。

### お子さまから目を離さないこと

本製品の使用中に限らず、本製品とお子さまと一緒に放置しないでください。必ず保護者の方の監視のもとにおいてください。

### ハーネスなど、本体以外の部分を持って本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際に、ハーネスを持ったり、ソフトパッドや生地部分を持つなどして持ち上げないでください。本製品が破損し、落下するおそれがあります。

本製品を持つ場合は、本体部分を持つようにしてください。

### 適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れの際に、可動部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。

### 長時間連続して使用しないこと

お子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。

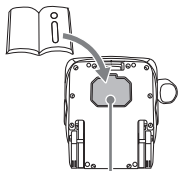
また、安全運転のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

## ⚠ 注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

### 本書は取扱説明書ホルダーに保管すること

必要なときにいつでも参照できるように、本書は、本体底面にある取扱説明書ホルダーに保管しておいてください。



取扱説明書ホルダー

## 緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてずに、本製品のハーネスでお子さまを固定している場合は、バックルボタンを押し下げてハーネスを外し、自動車の3点式シートベルトでお子さまを固定している場合は、自動車バックルを操作してシートベルトを外し、速やかにお子さまを脱出させてください。

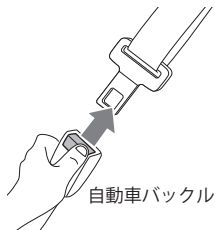
この際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックル、自動車バックルが機能しない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネス、またはシートベルトを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。

お子さまがケガをした場合には、速やかに応急処置を施し、治療するようにしてください。

また、外観上はケガがない場合でも、衝撃を受けている可能性がありますので、医師の診断を受けるようにしてください。



バックルボタン



自動車バックル

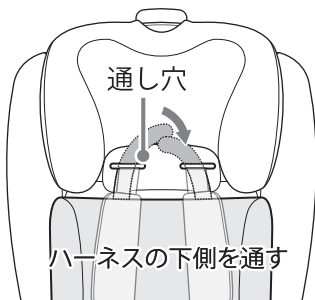
## 基本的な使いかた

ここでは、本製品の基本的な操作方法を説明します。お子さまの成長、体格に合わせて調整が必要な事柄に関しては、常に正しく調整、設定してお使いください。

### ソフトパッドの取り付け

ご購入時、ソフトパッドは固定されていません。ソフトパッドをヘッドレスト部に固定します。

ソフトパッドの背面部の上部のベルト（面ファスナー）を、ハーネスの下側になるようにして、左右のハーネスの通し穴を通して、左右の面ファスナーをヘッドレストのカバーの内側で留めます。



### バックルの使いかた

グループ1（お子さまの体重9kg～18kg）および、グループ2（お子さまの体重15kg～25kg 本製品のハーネスを使用しない場合を除く）では、本製品のハーネス、バックルを使用して、本製品にお子様を固定します。

#### ポイント！

お子さまの体重が15kg以上になった場合、ハーネスは本製品内に格納して、自動車の3点式シートベルトでお子さまを固定して使用することもできます。

#### 参照 P64 ▶グループ2/3での使用方法

#### 警告

**体重15kgまでは、ハーネスで固定すること**

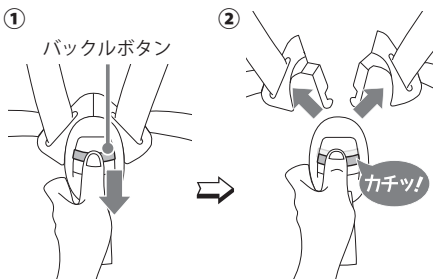
お子さまの体重が15kgになるまでは、グループ1モードでの使用になります。ハーネスを使ってお子さまを固定してください。

3点式シートベルトでのお子さまの固定はできません。

## バックルの外しかた

### 01

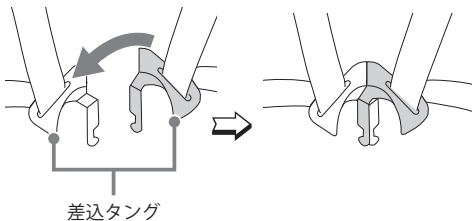
バックルを外すには、①バックルボタンを押し下げます。②「カチッ」と音がして、差込タングが外れます。



## バックルの留めかた

### 01

左の差込タングの上に右の差込タングを重ねます。肩ベルトをねじらないようにしてください。



### 警告

ハーネスにねじれがないようにすること

ハーネスにねじれがあると、事故や衝撃を受けた際に、お子さまがケガをするおそれがあります。

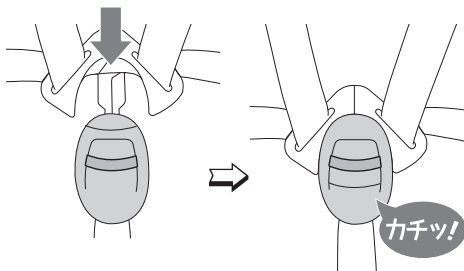


 **ポイント!**

差込タングは正しく重ねてから受けバックルに差し込みます。片方のみの状態では差し込むことができません。

**02**

そのまま、差込タングを、受けバックルに差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込みます。



**03**

軽く肩ベルトを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

 **ポイント!**

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないとき、保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

 **危険**

**バックルは確実に留めて使用すること**

バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客さまサービスまでご連絡ください。

## 注意

### バックルを清潔に保つこと

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう、お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

## ハーネスの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてハーネスの長さを調節します。

## 危険

### 肩ベルトの長さは適切に調節すること

肩ベルトは、必ず、適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎていたり、ゆるんでいたりとすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

## 注意

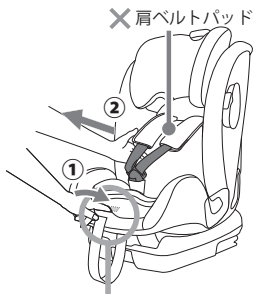
### 肩ベルトは左右同じ長さに調節すること

左右で肩ベルトの長さが異なると、ハーネスが所定の機能を発揮できないおそれがあります。必ず左右の肩ベルトを同じ長さに調整してください。

## ゆるめかた

### 01

ハーネスをゆるめるには、①シエルの前端的ベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②左右の肩ベルトを束ねて持って、ゆっくりと手前に引き出します。**肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。**



ベルトアジャスターは穴（切れ込み）の中にあります。外側からは見えません。

## 締めかた

### 01

アジャストベルトを手前に引くと、肩ベルトが締まります。



### ポイント！

お子さまを乗せて肩ベルトを締める場合、アジャストベルトはゆっくりと引くようにしてください。

## ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

ヘッドレストと肩ベルトの高さ調節は連動しています。ヘッドレストの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。

お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

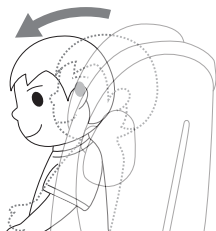
### ⚠危険

#### 肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、お子さまの体格、月齢に合わせ、必ず、適切な高さで調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

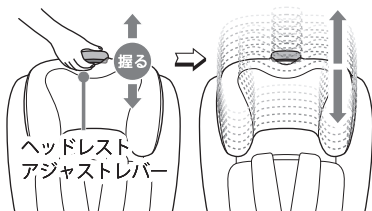
#### 01

お子様を乗せたまま、高さの調節をする場合、ハーネスをゆるめて、お子様を少し前に傾かせます。



#### 02

ヘッドレストアジャストレバーを握りながらヘッドレストを上下にスライドさせて、ヘッドレストの高さを調節します。適当な高さで握った手を放して軽く上下に動かすと「カチッ」と音がしてヘッドレストが固定されます。ヘッドレストの高さは11段階で調節できます。



## ソフトパッド

ヘッドレストを最も低い高さに調節しても、お子さまの肩の位置が、適切な高さよりも低くなってしまう場合は、ソフトパッドを取り付けて使用します。ソフトパッドは、お子さまが成長し、窮屈になったら取り外してください。

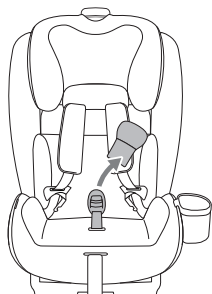
### 取り外しかた

#### 01

バックルを外して、股ベルトパッドを抜き取ります。

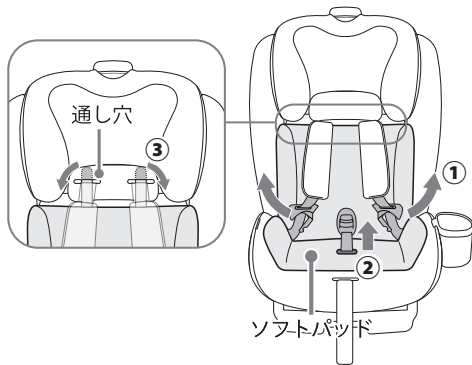
#### ポイント！

あらかじめ、ハーネスをゆるめておくと、取り外しがしやすくなります。



#### 02

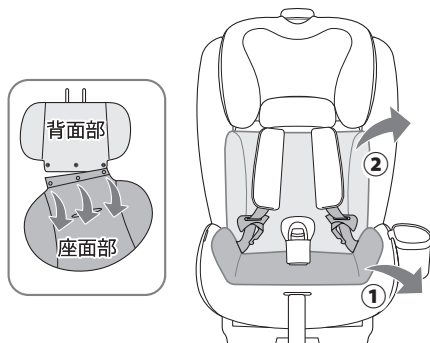
①左右のハーネスを、ソフトパッドのすき間から外し、②股ベルトをソフトパッドから抜きます。③ヘッドレストのカバーの内側で留められている、ソフトパッド上部のベルトの面ファスナーを左右とも外して、ソフトパッドを取り外します。



### 03

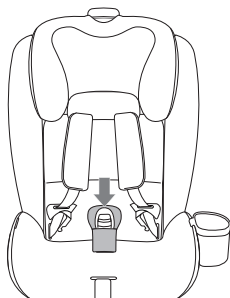
①お子さまが成長して、ソフトパッドの座面部が浮くようになった場合やお子さまが窮屈になった場合には、ホックボタンを外して、ソフトパッドの座面部を、取り外してください。

②さらにお子さまが成長して、肩などが窮屈になった場合には、背面部も取り外してください。



### 04

股ベルトパッドを受けバックルに差し込んで、取り付けなおします。股ベルトパッドには向きがあります。下図を参照して、正しい向きで取り付けてください。



### 05

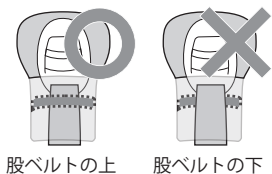
バックルを留めます。

### 06

取り付けは逆の手順で行ってください。

#### 👉 ポイント！

股ベルトパッドの内側にあるゴムベルトを股ベルトの表側に通すようにして取り付けます。下側を通すと、使用中に股ベルトパッドが外れるおそれがあります。



## ⚠ 注意

### ソフトパッドを大切に保管すること

取り外したソフトパッドはなくさないよう、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

## サイドインパクトシールド

本製品では、側面方向からの衝撃を和らげるため、サイドインパクトシールドが搭載されています。本製品使用中は、サイドインパクトシールドをお使いください。

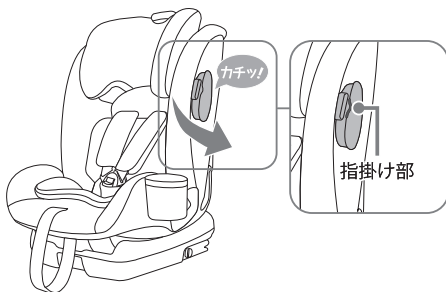
### 👉 ポイント！

サイドインパクトシールドは、本製品の左右にそれぞれ付いています。自動車のドア側のサイドインパクトシールドを開いて使用してください。

ドアと反対側の座席のサイドインパクトシールドは、格納しておくことができます。

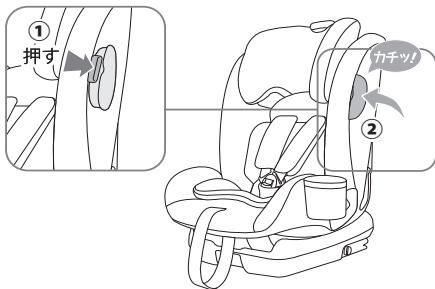
### 01

サイドインパクトシールドを、カチッと音がするまで開きます。指掛け部分に指を掛けて操作してください。



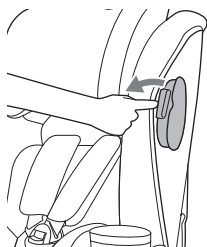
## 02

サイドインパクトシールドを閉じる（格納する）には、①リリースボタンを押しながら、②サイドインパクトシールドを閉じます。



### 👉 ポイント！

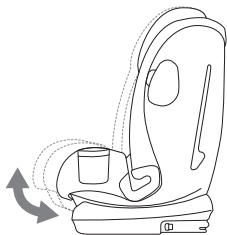
指掛け部分や、リリースボタンが、生地に隠れている場合があります。その場合、生地を少しめくって操作してください。



## リクライニング

お子さまがより快適に過ごせるよう、また、自動車の座席の角度に合わせて調節できるように、本製品では3段階でリクライニングの角度を調節することができます。

全てのモードで、3段階ともご使用いただけます。



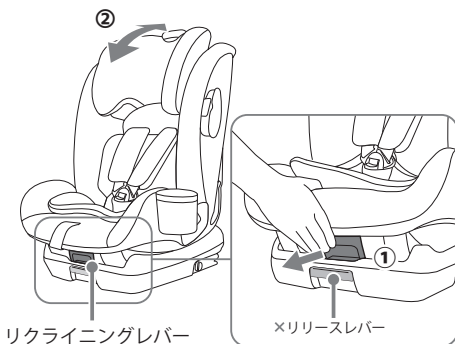


## 01

①リクライニングレバーを手前に引いて、②リクライニングの角度を調節します。リクライニングレバーの下に、リリースレバーがありますので、間違わないように注意してください。

### ポイント！

リリースレバーは、ISO-FIX の固定を解除するためのレバーです。



## カップホルダー

### 警告

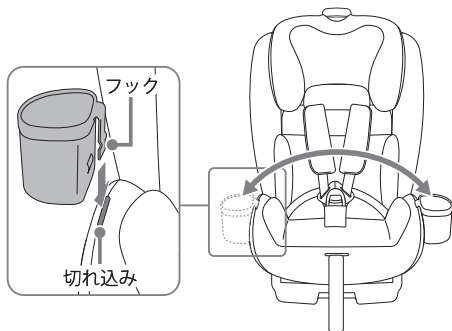
カップホルダーには、熱い飲み物、熱い液体の入った容器を入れないこと

お子さまがやけどを負うおそれがあります。

## 01

カップホルダーは、本製品の左右のどちらにでも取り付けことができます。本製品の左右いずれかの座面横の切れ込みに、カップホルダーのフックを差し込んでください。

最後までしっかりと差し込んでください。



## 02

自動車のドアを開閉した際に、カップホルダーにドアがあたらないか確認します。ドアの反対側への取り付けをお勧めします。

### ⚠ 注意

ドアの開閉時にカップホルダーがあたらないことを確認して使用すること

衝撃で液体がこぼれたり、カップホルダーが破損するおそれがあります。ドアとカップホルダーの間に十分な空間がない場合は、ドアの反対側にカップホルダーを取り付けてください。

## 取り付け操作

本製品を使用するどのモード（グループ1/2/3）でも、isofix コネクタによる取り付けが必要です。

グループ1（お子さまの体重 9kg ～ 18kg）モード、またはグループ2モード（お子さまの体重 15kg ～ 25kg）で本製品のハーネスを使用してお子様を固定する場合は、本製品のトップテザーを、自動車のテザーアンカーに固定する必要があります。

なお、すべてのモードにおいて、自動車の3点式シートベルトを使用します。

### 危険

**自動車の取扱説明書をよく読み、正しく使用すること。**

お車の種類や座席により、isofix コネクタによる取り付けやトップテザーの取り付け、チャイルドシートの使用に関して、特定の操作が必要になる場合があります。必ず、自動車の取扱説明書の該当する箇所をよく読み、正しく本製品を取り付け、使用してください。

### 警告

**お子さまを近づけないようにして操作すること。**

安全のため、取り付け、取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

### 注意

**お子さまを乗せた状態で取り付け、取り外しをしないこと。**

本製品が落下したり思わぬ動きをして事故につながるおそれがあります。

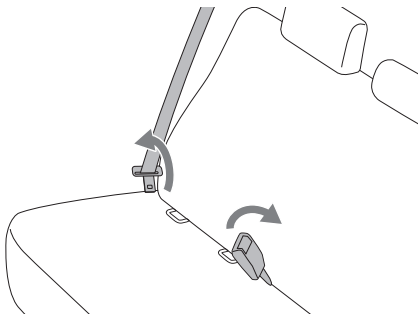
## 取り付けかた

---

### 準備（すべてのモードで共通）

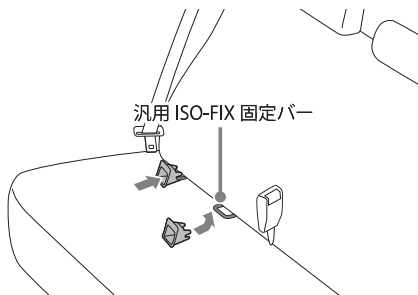
#### 01

本製品を取り付けるシートのシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。自動車タンクや自動車バックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



#### 02

ISO-FIX ガイドを、座席の ISO-FIX 固定バーに差し込みます。左右とも差し込んでください。



## ポイント！

ISO-FIX 固定バーは、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISO-FIX 固定バーが見えますので、その状態で ISO-FIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISO-FIX 固定バーにカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

車種によっては、ISO-FIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISO-FIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISO-FIX 固定バーの周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

## トップテザーの取り付け（特定モード）

グループ1またはグループ2で本製品のハーネスを使用する場合のみ必要な操作

本製品のハーネスを使用しない場合（グループ2モードで本製品のハーネスを使用しない場合およびグループ3モード）は、トップテザーは使用しません。

## ポイント！

先に以下の操作を行ってください。先に、isofix コネクタを取り付けるとトップテザーベルトの作業がやりにくくなります。

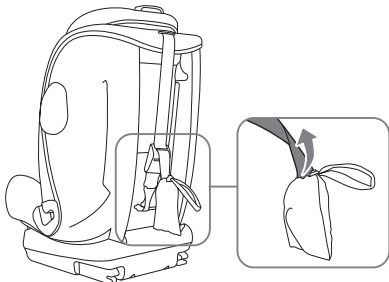
### 03

取り付けようとする座席のテザーアンカーの場所を確認します。

### 04

本製品の背面にある袋の口を開けて、中からトップテザーベルトを引き出します。

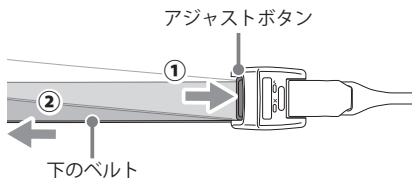
トップテザーベルトの端は、袋の中で縫い付けられていますので、トップテザーベルトを袋から完全に取り出すことはできません。



※先に、isofix コネクタを取り付けるとトップテザーベルトの作業がやりにくくなります。

## 05

トップテザーの①アジャストボタンを押しながら、②トップテザーの下側のベルト（本体の上部に縫い付けられている方のベルト）を引いて、トップテザーベルトをゆるめておきます。

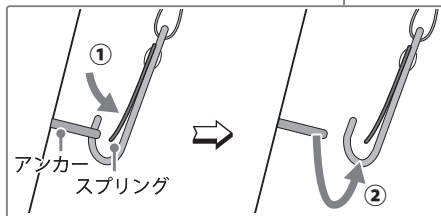
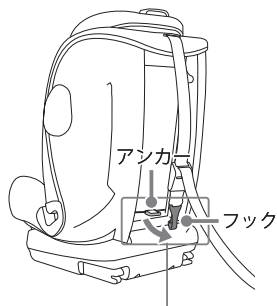


## 06

本製品背面のアンカーに取り付けてあるトップテザーを取り外します。

トップテザーのフックのスプリングを押し上げて、アンカーから取り外します。

本製品を使用しない場合は、トップテザーをアンカーに取り付けておいてください。

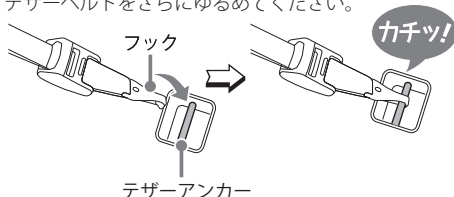


## 07

本製品を取り付ける自動車の座席の上に置き、トップテザーのフックを、テザーアンカーに取り付けます。

取り外しと逆の手順で、スプリングをテザーアンカーに押し付けて、フックをアンカーに通します。

トップテザーベルトが短くてテザーアンカーに届かない場合は、本製品を近づけるか、トップテザーベルトをさらにゆるめてください。



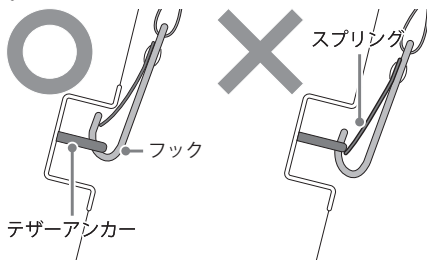
### ポイント!

テザーアンカーの形状、位置は、自動車の車種によって異なります。自動車の説明書に、トップテザーベルトの取り付けかたが記載されていますので、そちらを併せてご確認ください。

## 08

トップテザーが、正しくテザーアンカーに取り付けられているか確認します。

トップテザーのフックのスプリングがテザーアンカーに掛かっていないことを確認してください。



## 09

トップテザーベルトを引っ張って、テザーアンカーから抜けなことを確認します。

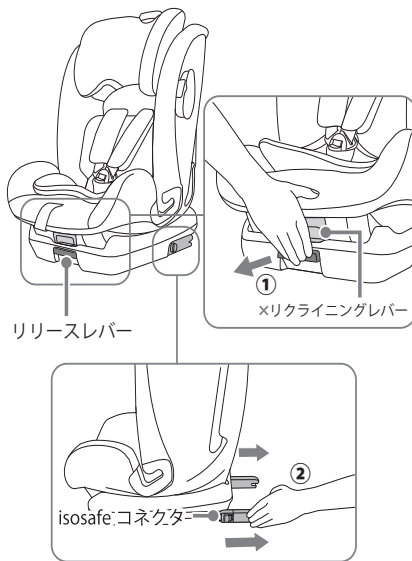
## isofix コネクタの取り付け（すべてのモードで共通）

### ポイント！

ここで使用しているイラストは、ハーネスを使用するモードでの表記になっていますが、グループ 2/3（ハーネスを本体内に格納している場合）でも、操作は同様です。

## 10

- ① リリースレバーを手前に引いてロックを解除し、
  - ② isofix コネクタを引き出します。最後まで引き出しておきます。
- isofix コネクタは、左右が連動していますので、いずれか一方を引き出してください。



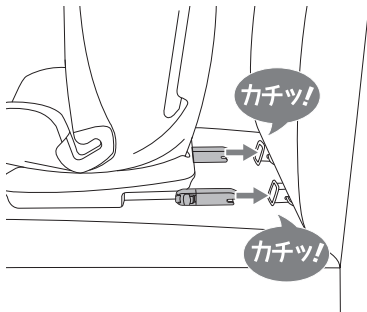


## 11

左右の isosafe コネクタを、ISO-FIX ガイドに差し込みます。座席の ISO-FIX 固定バーに固定されるまでしっかりと押し込んでください。

### ポイント！

トップテザーを使用しないモードの場合、あらかじめトップテザー、トップテザーベルトを余りなくたたんで、袋の中に収納しておいてください。



### 注意

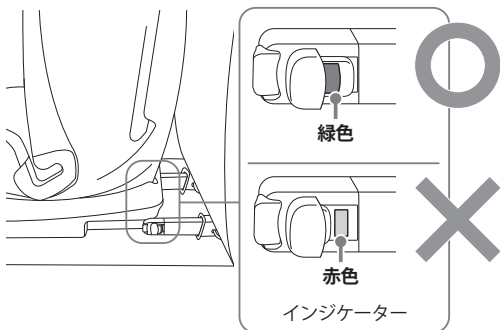
挟み込みや引っ掛かりに注意すること。

トップテザーベルトや袋、自動車のシートベルトが isosafe コネクタに挟み込まれたり、下に敷かれたりしないようにしてください。

## 12

左右の isosafe コネクタのインジケーターが両方とも緑色になっていることを確認します。必ず、左右両方とも確認してください。

左右いずれか一方でも緑色になっていない場合は、もう一度差し込み直してください。



### ポイント！

isosafe コネクタのインジケーターを確認するため、明るい場所で作業するか、懐中電灯で照らすなどしてください。

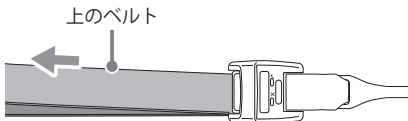
また、isosafe コネクタのインジケーターが緑色になっている場合でも、念のため、しっかりと固定されているかどうか、軽く本製品を動かして確認するようにしてください。

## トップテザーベルトの締め付け（特定モード）

グループ1またはグループ2で本製品のハーネスを使用する場合のみ必要な操作  
本製品のハーネスを使用しない場合（グループ2モードで本製品のハーネスを使用しない場合およびグループ3モード）は、この操作は不要です。ただし、この場合にはトップテザーおよびトップテザーベルトが余りなく所定の袋に収納されていることを確認しておいてください。

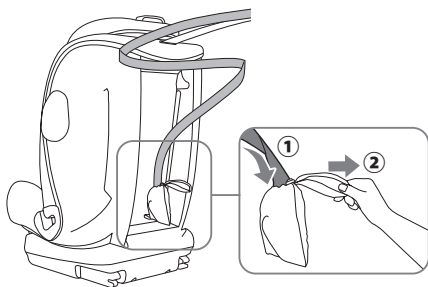
### 13

トップテザーの上側のベルト（先に袋の付いている方のベルト）を引いてトップテザーベルトを締めつけます。



### 14

余ったトップテザーベルトを、①袋の中に収納して、②袋の口紐を引いて口を閉じておきます。



## ⚠ 注意

トップテザーベルトの余長部分は、必ず袋の中に収納しておくこと。  
ベルトがお子さまに絡まったり、足に絡まって転倒するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。

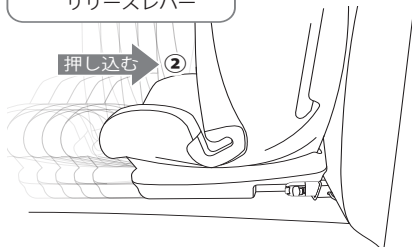
本製品の取り付け後は、必ずベルトの余長分を袋の中に収納しておいてください。

## 押し込み操作（すべてのモードで共通）

### 15

①リリースレバーを手前に引いて、②本製品を背もたれ側に押し込みます。

本製品の背面が背もたれに付くまでしっかりと押し込んでください。

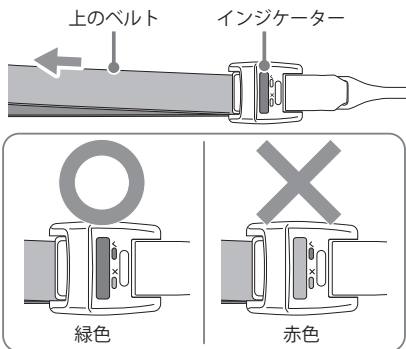


## トップテザーの確認（特定モード）

グループ1またはグループ2で本製品のハーネスを使用する場合のみ必要な操作  
本製品のハーネスを使用しない場合（グループ2モードで本製品のハーネスを使用しない場合およびグループ3モード）は、この操作は不要です。

### 16

トップテザーの上側のベルト（先に袋の付いている方のベルト）を、再度強く引いて、インジケーターが赤色から緑色になるまで、トップテザーベルトをしっかりと締めつけます。



## 17

本製品がしっかり固定され、動かないことを確認してください。

## 取り外しかた

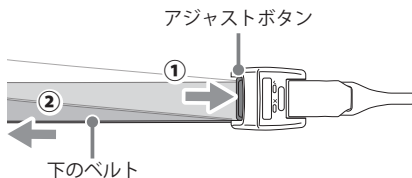
---

### トップテザーの取り外し（特定モード）

グループ1またはグループ2で本製品のハーネスを使用する場合のみ必要な操作  
本製品のハーネスを使用しない場合（グループ2モードで本製品のハーネスを使用しない場合およびグループ3モード）は、この操作は不要です。

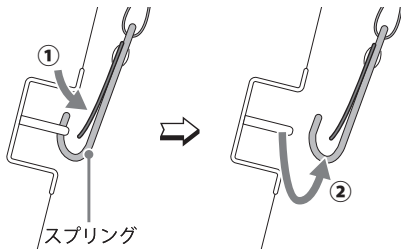
#### 01

トップテザーの①アジャストボタンを押しながら、②トップテザーの下側のベルト（本体の上部に縫い付けられている方のベルト）を引いて、トップテザーベルトをゆるめておきます。



#### 02

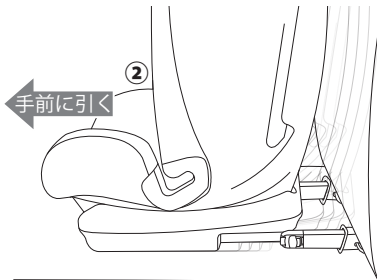
トップテザーのフックのスプリングを押し上げて、トップテザーをテザーアンカーから取り外します。



## isofix の取り外し（すべてのモードで共通）

### 03

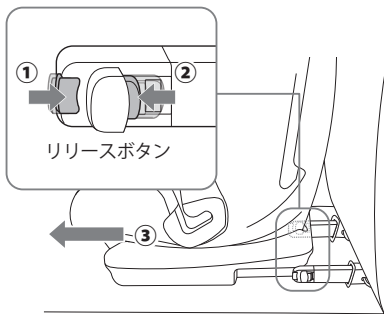
①リリースレバーを手前に引いて、②本製品を手前に引きます。



### 04

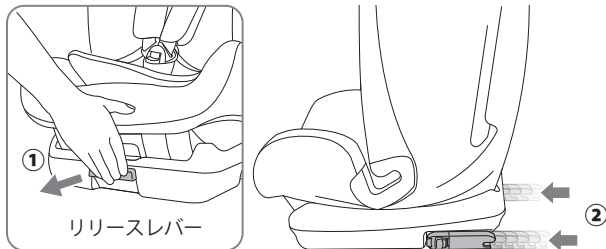
isofix コネクタはダブルロック構造になっています。左右の isofix コネクタを同時に操作してください。

①のリリースボタンを押しながら、②のリリースボタンを押してロックを解除して、③ ISO-FIX 固定バーから抜きます。



## 05

- ①リリースレバーを手前に引いてロックを解除し、
- ② isosafe コネクタを戻します。左右とも最後まで戻すようにしてください。

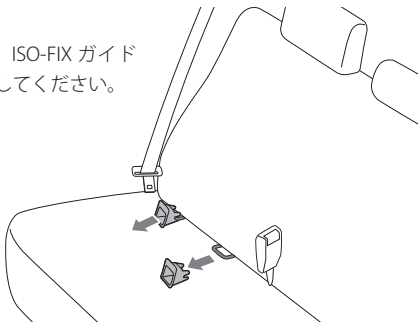


### ポイント！

破損を防ぐため、本製品を取り外した場合は、isosafe コネクタは本体内に戻してください。

## 06

ISO-FIX ガイドを取り外します。ISO-FIX ガイドをなくさないよう、大切に保管してください。



### トップテザーの収納（特定モード）

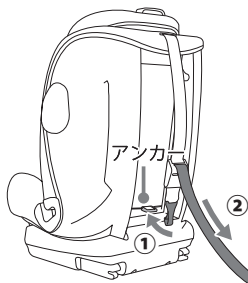
グループ1またはグループ2で本製品のハーネスを使用する場合のみ必要な操作  
本製品のハーネスを使用しない場合（グループ2モードで本製品のハーネスを使用しない場合およびグループ3モード）は、この操作は不要です。

## 07

- ①本製品背面の下部にあるアンカーに、トップテザーのフックを取り付けます。
- ②トップテザーの上側のベルト（先に袋の付いている方のベルト）を引いて、トップテザーベルトを締めておきます。

### ポイント！

アンカーへの取り付けの操作は、テザーアンカーへの取り付けと同様です。



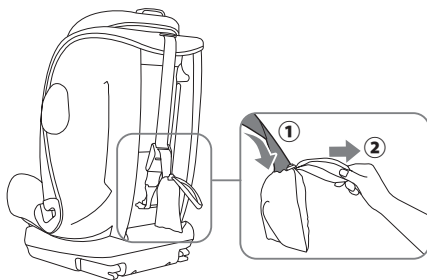
### 警告

自動車の座席に取り付けていない場合、トップテザーは、本製品のアンカーに取り付けておくこと。

アンカーがお子さまや他の人などにあたり、思わぬ事故につながるおそれがあります。必ず、所定のアンカーに取り付けておいてください。

## 08

- ①トップテザーベルト末端の袋の口を開けて、トップテザーベルトを畳んで収納します。
- ②袋の口紐を引いて口を閉じておきます。



### 警告

トップテザーベルトの余長部分は、必ず袋の中に収納しておくこと。

ベルトがお子さまに絡まったり、足に絡まって転倒するなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



## 各モードでの使用方法

### グループ 1 / 2 での使用方法

本製品のハーネスを使用してお子さまを固定する使用方法です。

グループ 1 : 体重 9kg~18kg 年齢の目安 : 1 歳頃 ~4 歳頃

グループ 2 : 体重 15kg~25kg 年齢の目安 : 3 歳頃 ~7 歳頃  
※年齢は目安です。

モード	適応体重	目安年齢	お子さまの固定方法	自動車の座席への固定方法
	グループ 1	9kg ~ 18kg	およそ 1 歳頃 ~ 4 歳頃	● isosafe コネクター ● トップテザー ● 自動車の座席の 3 点式シートベルト
	グループ 2	15kg ~ 25kg	およそ 3 歳頃 ~ 7 歳頃	

#### ポイント!

お子さまの体重が 15kg 以上になった場合、ハーネスは本製品内に格納して、自動車の 3 点式シートベルトでお子さまを固定して使用することもできます。

#### 参照 P64 ▶グループ 2 / 3 での使用方法

### 危険

体重 15kg までは、ハーネスで固定すること

お子さまの体重が 15kg になるまでは、ハーネスを使ってお子さまを固定してください。

3 点式シートベルトでのお子さまの固定はできません。

## 01

本製品を自動車の座席に正しく固定します。

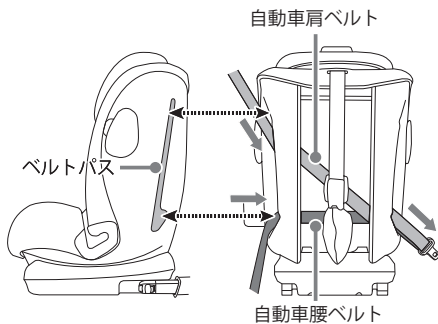
- ・ トップテザー
- ・ isosafe

以下を参照して正しく取り付けしてください。

参照 P43~53 ▶取り付け操作▶ 01~17

## 02

自動車の3点式シートベルトを、下図のように本製品の背面のベルトパスを通します。



※図は右ハンドル車の助手席の後ろ座席に取り付けた状態です。

## 03

シートベルトにねじれがないことを確認して、自動車バックルを留めます。



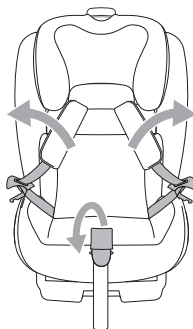
## 04

本製品のハーネスをゆるめておきます。

参照 P34 ▶ハーネスの長さ調節

## 05

お子さまがバックル、ハーネスの上に座らないよう、差込タンク、受けバックルをそれぞれ外側に出しておきます。



### ⚠注意

受けバックル、差込タンク、その他のものの上にお子さまが座らないようにすること

ケガ、故障、破損のおそれがあります。受けバックル、差込タンクの上にお子さまを座らせないように注意してください。また、お子さまが座る前には必ず、本製品の上に異物が乗っていないことを確認してください。

## 06

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。お子さまの股が、股ベルトの根元あたりになるようにしてください。

## 07

股ベルトを両足の間にに入れて、両腕を肩ベルトの間に通し、ハーネスにねじれがないことを確認して、カチッと音がするようにバックルを留めます。



### ポイント!

ハーネスがきつくてバックルが留めにくい場合は、無理に留めず、ハーネスをさらにゆるめてください。

次に記載の、肩ベルトの高さの調節をおこなうと、さらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。

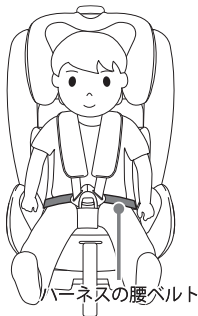
### 警告

#### ハーネスをねじらないようにすること

ハーネスにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

## 08

ハーネスの腰ベルトが、お子さまの骨盤の上を通るように、お子さまの姿勢、位置を調整します。



## 警告

ハーネスの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通るようにしておくこと  
事故や衝撃を受けた際に、お子さまの腹部が圧迫されたり、大腿部に過剰な衝撃  
が加わるおそれがありますので、ハーネスの腰ベルトは、必ずお子さまの骨盤の  
上を通るように調整してください。

### 09

肩ベルトの高さを確認、調節します。

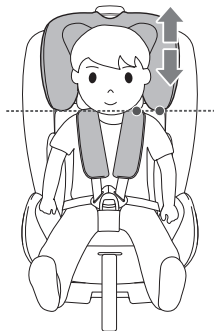
ハーネスが締め付けられている場合は、さらにハーネスをゆるめておいてくださ  
い。

参照 P34 ▶ハーネスの長さ調節

### 10

正面から見て、ヘッドレストの最下部がお子さまの肩の高さと水平の位置になる  
ように調節すると適切な高さになります。

参照 P36 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節



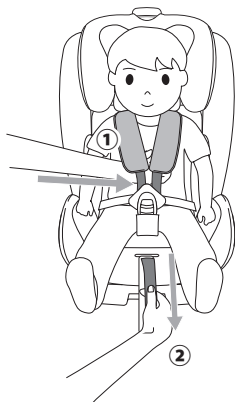
## 警告

### 肩ベルトを適切な高さに調節すること

肩ベルトが、適切な高さよりも高すぎたり、低すぎると、事故や衝撃を受けたときに首や頭部に過剰な衝撃が加わったり、肩ベルトが外れたりするおそれがあります。

## 11

①肩ベルトとお子さまの間に、手のひらを差し込んで、②別の手でアジャストベルトをゆっくりと引っ張り、ハーネスを締めつけていきます。差し込んだ手のひらがハーネスとお子さまの身体の間挟まれるまで、アジャストベルトを締めつけてください。



### ポイント！

大人の手のひらがハーネスとお子さま間に差し込める程度が適切な締め付けの状態です。

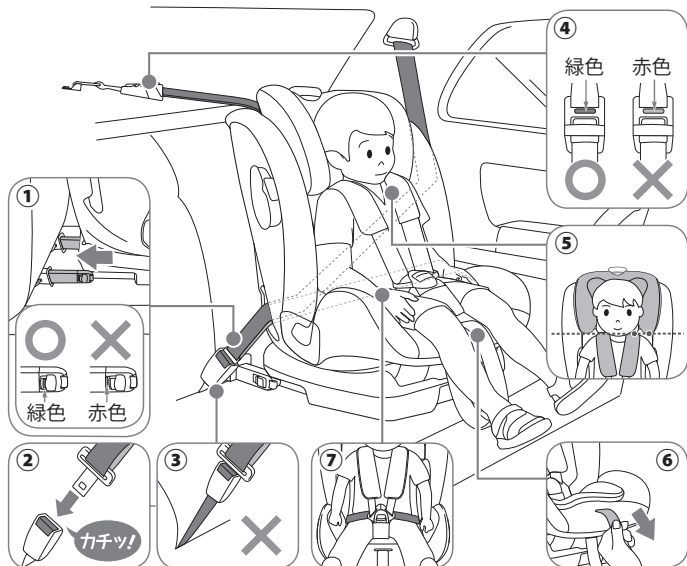
## 警告

### アジャストベルトは慎重にゆっくりと操作すること

ハーネスが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャストベルトを、勢いよく引かないでください。

## 12

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっているか確認してください。正しい状態になっていない部分をやり直して、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



- ① isofixa コネクタが左右とも ISO-FIX 固定バーに正しく固定されていて、コネクタのインジケータが左右とも完全に緑色になっていること
- ② 自動車の3点式シートベルトが本製品背面のベルトパスを通り、自動車バックルが確実に留められていること
- ③ 自動車バックルが長すぎたり、位置が前過ぎる場合、本製品を安定して固定できませんので、そのような座席では使用しないでください
- ④ トップテザーが自動車のテザーアンカーに確実に固定され、かつ適切に締め付けられ表面のインジケータが緑色になっていること
- ⑤ 肩ベルトの高さが、適切に調整されていること
- ⑥ ハーネスの長さが適切に調節されていること（アジャストベルトで調節）
- ⑦ ハーネスの腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること

## 13

お子さまを降ろす場合は、バックル・ハーネスを外して降ろします。

### ポイント！

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、自動車肩ベルトの高さが適切かどうか確認するようにして、適宜調節するようにしてください。

## グループ 2 / 3 での使用方法

グループ 2 : 体重 15kg~25kg 年齢の目安 : 3 歳頃 ~7 歳頃

グループ 3 : 体重 22kg~36kg 年齢の目安 : 6 歳頃 ~12 歳頃  
※年齢は目安です。

モード	適応体重	目安年齢	お子さまの固定方法	自動車の座席への固定方法
	グループ 2 15kg ~ 25kg	およそ 3 歳頃 ~ 7 歳頃	自動車の座席の 3 点式 シートベルト	● isofix コネクター
	グループ 3 22kg ~ 36kg	およそ 6 歳頃 ~ 12 歳頃		

### 危険

**体重 15kg までは、ハーネスで固定すること**

お子さまの体重が 15kg になるまでは、ハーネスを使ってお子さまを固定してください。

3 点式シートベルトでのお子さまの固定はできません。



## ポイント！

グループ2モードでは、グループ1モードから引き続き本製品のハーネスを使用してお子さまを固定することもできます。お子さまの成長、体型に応じて使用方法を選んでください。3点式シートベルトでお子さまを固定するモードと、本製品のハーネスを使用してお子さまを固定するモードでは、自動車の座席への取り付け方法は異なりますのでご注意ください。

## ハーネスの格納

このモードでは、本製品のハーネスは使用せず、自動車の3点式シートベルトでお子さまを固定します。

このため、ハーネスを本製品の内部にあらかじめ格納しておきます。

### 01

下記を参照して、股ベルトパッドとソフトパッドを取り外しておきます。

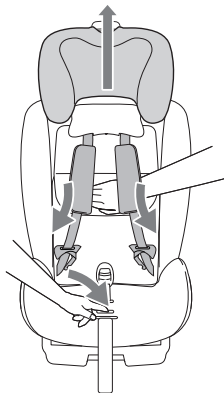
参照 P37 ▶ソフトパッド▶取り外しかた

### 02

ハーネスをゆるめて、ヘッドレストを最も高い位置にしておきます。

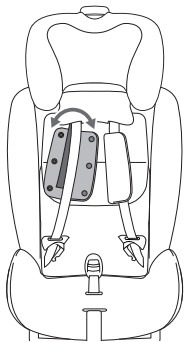
参照 P34 ▶ハーネスの長さ調節

参照 P36 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節



### 03

肩ベルトパッドのホック（3か所）を外します。  
左右とも外してください。



### 04

肩ベルトパッドは、下側のベルトに面ファスナーで留められています。面ファスナーを外して、肩ベルトパッドを左右とも取り外してください。

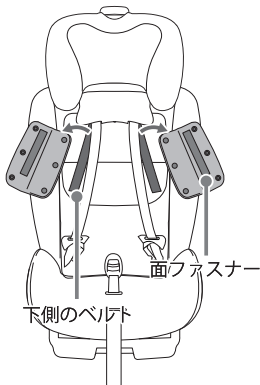


#### ポイント！

肩ベルトパッドには向きがあります。取り付け  
る場合は、以下を参照して正しい向きに取り付  
けてください。

参照

P82 ▶パッド・カバー類の取り外し  
▶ 07



### ⚠ 注意

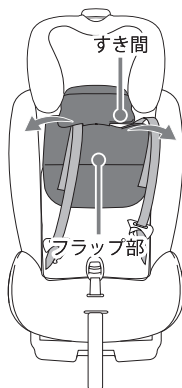
取り外した股ベルトパッド、肩ベルトパッドはなくさないよう大切に保管すること

グループ 1/2 モード（本製品のハーネスを使用）で使用するには、股ベルトパッド、肩ベルトパッドを取り付ける必要があります。

取り外した際には、なくさないよう、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

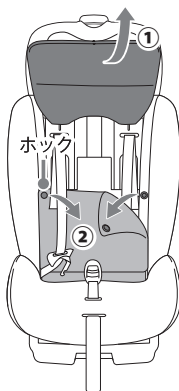
## 05

左右の肩ベルトをヘッドレストのフラップ部のすき間から外側に外します。



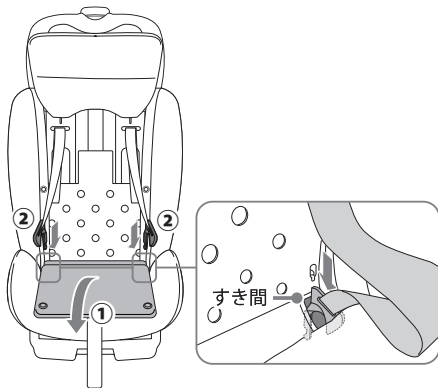
## 06

①ヘッドレストのフラップ部をめくり、②背もたれで留めてある下部シートカバーのホックを外します。左右とも外してください。



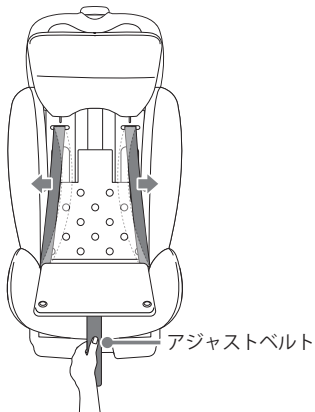
## 07

①下部シートカバーを前に倒して、②差込タングをそれぞれ本体左右のすき間部分に差し込みます。



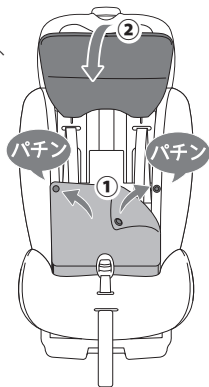
## 08

アジャストベルトを引いて、ハーネスのたるみを、なくしておきます。



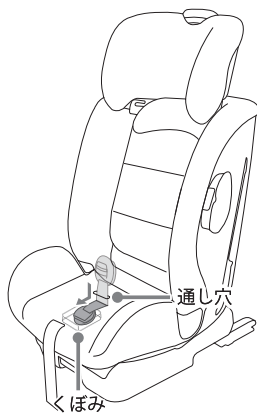
## 09

- ①下部シートカバーを起こして、左右のホックを留めて、
- ②ヘッドレストのフラップ部を戻します。



## 10

股ベルト（受けバックル）を、通し穴に通して、座面下のくぼみに収納します。



※くぼみは、座面カバーの下に隠れています。  
外側からは見えません。

## 使いかた

### 01

本製品を自動車の座席に正しく固定します。

・ isosafe

以下を参照して正しく取り付けしてください。

**参照 P43~53 ▶取り付け操作▶ 01~17**

### 02

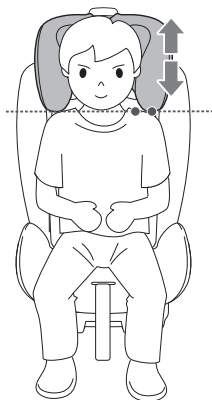
お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせませす。腰を深くして、本製品の中央に座らせてください。



### 03

正面から見て、ヘッドレストの最下部がお子さまの肩の高さと水平の位置になるように、ヘッドレストの高さを調節します。

#### 参照 P36 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節



#### ⚠ 警告

##### ヘッドレストを適切な高さに調節すること

本製品では、ヘッドレストの高さを調節することにより、自動車の3点式シートベルトの肩の高さを調節します。適切な高さになっていないと、事故や衝撃を受けたときに首や頭部に過剰な衝撃が加わったり、シートベルトが外れたりするおそれがあります。

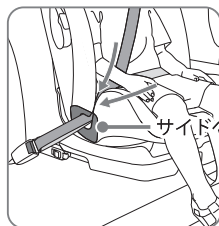
## 04

シートベルトをねじらないように注意して、①自動車バックル側のサイドベルトパスに自動車肩ベルトと自動車腰ベルトを通し、②自動車のドア側のサイドベルトパスに自動車腰ベルトを通して、③自動車バックルを留めます。



自動車バックル側

自動車のドア側



サイドベルトパス

自動車肩ベルト、腰ベルトを  
サイドベルトパスに通す

自動車腰ベルトを  
サイドベルトパスに通す



## 05

自動車腰ベルトが、お子さまの骨盤の上を通るように調整してください。



### 警告

**自動車バックルに手を触れないよう言い聞かせること**

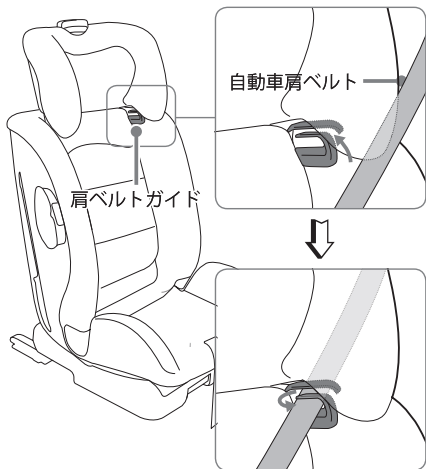
自動車バックルが外れると事故につながるおそれがあります。普段から自動車バックルに手を触れないように言い聞かせるようにしてください。

**自動車腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通るようにしておくこと**

事故や衝撃を受けた際に、お子さまの腹部が圧迫されたり、大腿部に過剰な衝撃が加わるおそれがありますので、ハーネスの腰ベルトは、必ずお子さまの骨盤の上を通るように調整してください。

## 06

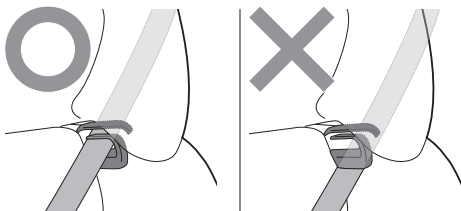
自動車肩ベルトを、自動車のドア側の肩ベルトガイドに通します。  
肩ベルトガイドの切り口に自動車肩ベルトを差し入れて通してください。  
自動車肩ベルトをねじらないように注意して、下図を参照して通してください。



### ⚠ 警告

#### 肩ベルトガイドに正しく自動車肩ベルトを通すこと

自動車肩ベルトを、肩ベルトガイドの下に通したり、肩ベルトガイド以外の場所に通したりしないでください。



## 07

自動車肩ベルトを肩ベルトガイドに通したら、自動車肩ベルトの高さと位置を調節します。

①肩ベルトガイドの高さが不適切な場合は、再度、ヘッドレストの高さを調節し、肩ベルトガイドの位置を調節してください。

②自動車肩ベルトを左右に調整し、適切範囲内を通るようにしてください。必ず、正しい高さで、正しい位置を通るようにしてください。

### 参照 P36 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節



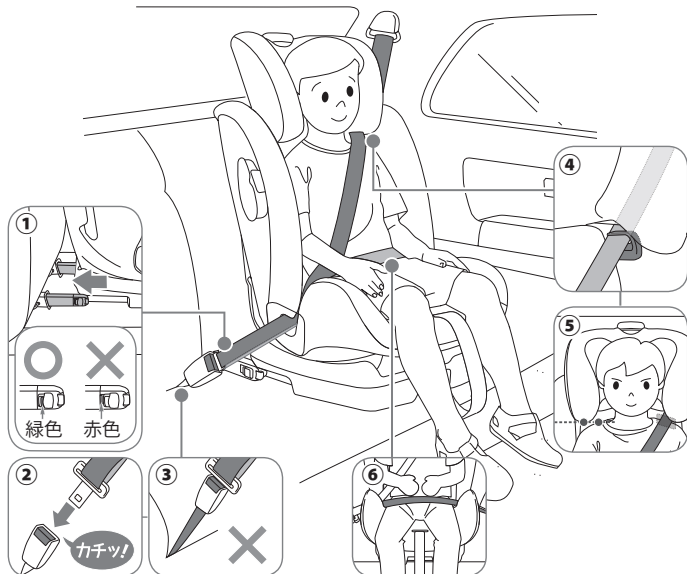
### ⚠危険

#### 必ず、正しい高さで、正しい位置を通すこと

自動車肩ベルトが、正しい位置よりも、お子さまの首側にあると、事故や衝撃を受けた際に、自動車肩ベルトがお子さまの首を圧迫し、大変危険です。正しい位置よりも外側の場合には、事故や衝撃を受けた際に、自動車肩ベルトがすり抜け、お子さまが飛び出るおそれがあります。

## 08

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっているか確認してください。  
正しい状態になっていない部分をやり直して、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



- ① isosafe コネクタが左右とも ISO-FIX 固定バーに正しく固定されていて、コネクタのインジケーターが左右とも完全に緑色になっていること
- ② 自動車の3点式シートベルトにねじれがなく、自動車バックルが確実に留められていること
- ③ 自動車バックルが長すぎたり、位置が前過ぎる場合、お子さまと本製品を安定して固定できませんので、そのような座席では使用しないでください
- ④ 肩ベルトパスに正しく自動車肩ベルトが通っていること
- ⑤ 肩ベルトが適切な高さに調節され、かつ、お子さまの肩の適切範囲に収まっていること
- ⑥ 自動車腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること

## 09

お子さまを降ろす場合は、3点式シートベルトを外して、降ろします。



### ポイント！

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、自動車肩ベルトの高さが適切かどうか確認するようにして、適宜調節するようにしてください。

## お手入れのしかた

本製品では、お手入れのため、シートのカバー、パッド類を取り外すことができます。

お手入れ後は、取り外したカバー、パッド類を必ず元に戻してください。

### 危険

#### 部品を取り外した状態で使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。シートのカバーや、クッション類、なども本製品を構成する重要な部品ですので、絶対に取り外して使用しないでください。

また、これらの部品を、指定外部品に交換したり、同梱されていないアクセサリや部品を取り付けて使用しないでください。

#### カバー類を外した状態の本製品は、お子さまの手の届かない場所に置いておくこと

お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。

お手入れ等のため、カバー類を外したら、取り付け直すまでの間は、お子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

## パッド・カバー類の取り外し

### ポイント！

自動車の座席に取り付けたまま作業はできません。

### 注意

#### ゆっくりと作業すること

パッド、カバーなどが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないか確認するようにしてください。

また、カバーの下にある衝撃吸収材やウレタン等に傷をつけないように注意してください。

### 01

以下の作業を行い、シートのカバーを取り外しやすくしておきます。

P65~67：ハーネスの格納 ▶ 01~06 まで

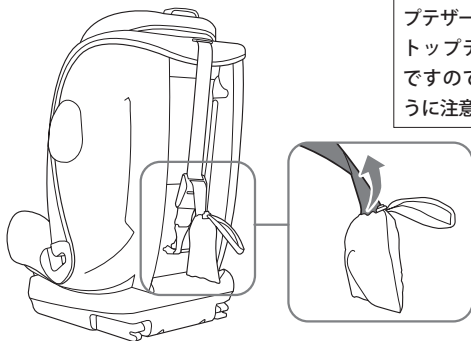
### 02

本製品の背面にある袋の口を開けて、中からトップテザーを引き出します。

### ポイント！

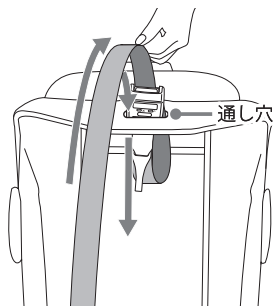
通し穴に通すために、袋からトップテザーを取り出します。

トップテザーは金属で重いものですので、ケガなどをしないように注意してください。



### 03

背面のトップテザーベルトの通し穴から、トップテザーとベルト、袋を抜きます。



**ポイント！**

袋まですべて抜いてください。

### 04

ヘッドレストのカバー取り外します。

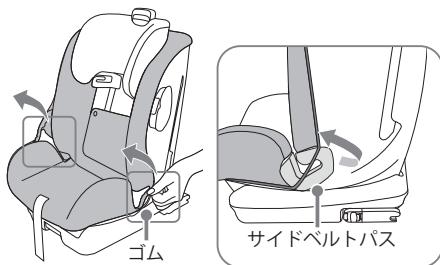
ヘッドレストアジャストレバーの部分から前方に外すと作業が楽に行えます。





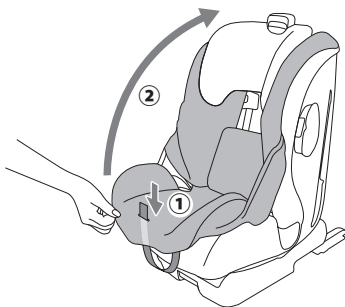
## 05

左右のサイドベルトパスの縁に掛けられている、シートのカバーのゴム部分を取り外します。



## 06

①アジャストベルトを通し穴から抜き、②シートのカバーを下から上にめくるようにして、取り外します。



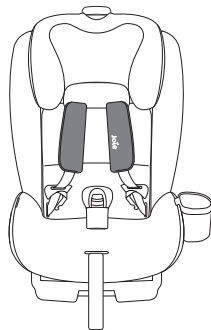
## 07

取り付けは逆の手順で行ってください。

### ポイント!

肩ベルトパッドには向きがあります。

下図を参照して、向きを間違わないように取り付けてください。



## パッド・カバー類のお手入れ

取り外した、パッド、カバー類は、以下に従ってお手入れしてください。

### ポイント!

お手入れにより、色落ち、ゆがみ、多少の縮みが発生することがあります。あらかじめご了承ください。

## 注意

### 指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法でソフトパッド、カバー、パッド類を洗うと、破損、破れ、型崩れしたり、縮んだりするおそれがあります。

## 01

次のパッド、カバー類が洗濯できます。

30℃以下の水で手洗いしてください。

軽く絞って、形を整え、陰干ししてください。

ヘッドレストのカバー  
シートのカバー  
肩ベルトパッド  
股ベルトパッド  
ソフトパッド

 **ポイント!**

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

 **注意**

**洗濯機は使用しないでください**

手洗いのみ可能です。洗濯機の使用は破損、変形の原因となります。また、重量の偏りにより、洗濯機が故障するおそれがあります。

**アイロンは使用しないでください**

破損、縮みの原因となります。

**タンブラー乾燥はしないでください**

破損、縮みの原因となります。

乾燥機は使用しないでください。

**有機溶剤を使用しないでください**

ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、破損のおそれがあります。

**漂白剤は使用できません**

劣化を早め、変退色の原因となります。

**きつく絞らないでください**

型崩れ、変形の原因となります。

**ドライクリーニングをしないでください**

破損、劣化、縮みの原因となります。

## 樹脂・金属のお手入れ

### ⚠ 危険

#### 潤滑剤を絶対に使用しないこと

シリコンオイル、グリース、マシン油などの潤滑剤、潤滑効果のある物質を絶対に使用しないでください。

潤滑剤が付着すると、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。

### 樹脂部分

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。  
洗剤類は使用しないでください。

### ⚠ 注意

#### ウエットタオル（ウエットティッシュ）は使用しないこと

洗剤類、市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふきは使用しないでください。

含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

### 金属部分

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

**バックル、isosafe コネクタ、トップテザーを除く**金属部分に関して、食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合、お手入れ後は洗剤をよくふき取ってください。

### ⚠ 注意

#### 水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。

水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

## isofafe コネクタ・トップテザーのお手入れ

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

### ポイント！

isofafe コネクタ、トップテザー、および自動車の ISO-FIX 固定バー、テザーアンカーは常に清潔を保つようにしてください。

### 危険

#### 洗剤類や潤滑剤を絶対に使用しないこと

isofafe コネクタ、トップテザーに潤滑剤、潤滑性のある物質が付着すると、大変に危険です。絶対に使用しないでください。

## ハーネス・バックルのお手入れ

### 危険

#### 絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないこと

バックルが正しく機能しなくなるおそれがありますので、差込タンク、受けバックルのお手入れには、絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないでください。なにも混ぜていない水かお湯を使ってお手入れしてください。含まれる成分によっては、樹脂部分の劣化、変質の原因となりますので、市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは使用しないでください。

#### バックルに異常がある場合は直ちに使用を中止すること

正しく差込タンクを受けバックルに差しても「カチッ」と音がしない、バックルボタンが動かないなど、バックルに異常を発見した場合はただちに本製品の使用を中止して、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

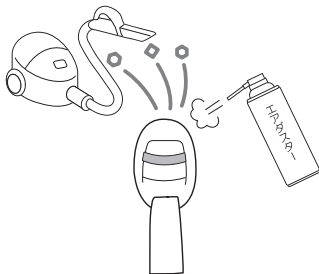
## ハーネス

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

## バックル

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で拭いて汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



## 保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、自動車から取り外しておいてください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時もバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる露天では保管しないでください。

## 廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品・使用不可」と明示し、シートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。







# 保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	ジョイー ボールド		
お買い上げ日			
お客様	ご住所	店名	電話番号
	〒	お買い上げ 販売店名	
	お名前		
	電話番号		

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

1. 保証期間中に正常な使用状態において、万一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
2. 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。

- ・ 本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
- ・ お客様のご購入を証明することができない場合
- ・ 本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合
- ・ 正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類、ベルト類等縫製品のほつれの場合
- ・ 部品の紛失の場合

3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。

- ・事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
  - ・誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
  - ・本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
  - ・並行輸入品や海外で購入された製品の場合
  - ・業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
  - ・中古品の場合
4. 本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
5. 本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
6. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしませんが、一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。

保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

**(本製品に関するお問い合わせ先)**

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

[www.katoji.co.jp](http://www.katoji.co.jp)

**(Joie日本総代理店)**

株式会社カトージ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シジュート等を貼り付けてください

**Joie**